クラス番号	335	担当教員名	小松　理佐子
		他専修学生受入上限	0 名
テーマ	人口減少社会における高齢者ケアのあり方を考える		
著書･論文 研究課題等	【著書】『よくわかる社会福祉の「経営」』（編著）ミネルヴァ書房、2018 年 『地域福祉の課題と展望』（編著）放送大学教育振興会、2022 年 『人口減少時代の生活支援論－地域のつながりを維持・再生する－』（編著）ミネルヴァ書房、2025 年 【研究課題】人口減少社会における持続可能な社会福祉システム		

ゼ ミ ナ ー ル 概 要

キーワード：高齢者ケア、家族、コミュニティ、ボランティア、人口減少社会、国際比較

目的、内容、方法：

日本は、2000 年代半ばをピークに人口が減少し始め、同時に少子・高齢化が進行しています。この傾向は今後も続くとみられ、都市部を中心に高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯が増加することが見込まれています。すでに各地では、担い手不足、利用者が少ないという理由で、福祉施設・事業所が廃止されてはじめています。本ゼミナールでは、このような状況をどのように変えていくかを研究します。

とりわけ本ゼミナールでは、地域・コミュニティの可能性に焦点を当てます。高齢者ケアを支える子どもの数も減少する中で、家族に役割を期待することにも限界が生じています。また、介護保険制度などの社会保障制度にも限界があります。家族や制度の限界を地域・コミュニティがどのように支えることができるか、ICT をどのように活用するか、などを考えます。

３年生の授業では、現在地域でどのような取り組みが行われているかを調べます。一つは、近隣住民・ボランティア・民生委員など、地域住民による高齢者の見守り・支援やサービス創出の取り組みを調べます。二つ目として、専門機関における ICT の活用状況を調べます。

また、高齢化の進行による高齢者ケアという課題は、日本だけでなく、韓国、中国、台湾、シンガポールなどの国々の課題にもなりつつあります。ゼミでは、それらの国々との政策の比較も行い、それを通して日本の特徴について考えます。

授業計画：

3 年生では、「近隣住民による支え合い活動」「専門機関による実践」「国際比較」のテーマでサブゼミを作り、グループごとに研究を進める予定です。ただし、ここにあげたテーマは仮のものです。ゼミ生の関心に合わせてテーマを設定します。愛知県豊田市などでのフィールドワークを行う予定です。希望があれば、中国又は台湾の現地調査を実施します（費用は自己負担）。

4 年生では、前期間中に卒業論文のための研究を進め、卒業論文を完成させます。 後期は、卒業論文の完成させた後、国家試験対策の学習をします。

担当教員からのメッセージ



ゼミ活動は、グループでの学習が中心になります。周囲の人と協力して活動できる人、あるいはそのような人になりたいと願う人、におススメです。ゼミのモットーは、「良く遊び、良く学ぶ」。人口減少が進む地域を支える、夢と行動力にあふれた人材を育てたいと思っています。卒業後、出身地に帰って地域を支えたいという熱意のある人を歓迎します。

すでに、美浜町の「ふれあいまつり」、山形県最上町の「最上まつり」へのお誘いがきています。お祭り好きな人、お待ちしています！